

平成29年度
エコアイランド宮古島推進実施計画
(平成30～32年度 実施事業)

平成29年12月
宮古島市

目次

2-1 環境保全	1		

2-1-① 地下水の保全	1		
2-1-①-a 地下水保全	1		
2-1-② 廃棄物の適正処理	3		
2-1-②-a 一般廃棄物	3		
2-1-②-b 不法投棄	5		
2-1-③ 海の保全	6		
2-1-④ 生物多様性	8		
2-1-⑤ 環境保全に係る教育	10		

2-2 資源循環	12		

2-2-① バイオマス	12		
2-2-①-a バイオエタノール	12		
2-2-①-b バイオディーゼル	12		
2-2-①-c メタン発酵	13		
2-2-② エネルギーの効率化	13		
2-2-②-a 再生可能エネルギーの普及	13		
2-2-②-b 省エネ対策	14		
2-2-②-c 外的環境の変化	15		
2-2-③ 未利用エネルギー	15		
2-2-③-a 天然ガス	15		
		2-2-③-b その他の未利用エネルギー	15
		2-2-④ 資源循環に係る教育	16

		2-3 産業振興	17

		2-3-① 産業の振興	17
		2-3-①-a 新たなビジネスの創出	17
		2-3-② 「エコアイランド宮古島」のブランド化	18
		2-3-②-a 市民主体のエコアイランドづくり	18
		2-3-②-b 観光との連携	19
		2-3-②-c 農水産業、商工業との連携	20
		2-3-③ 産業振興に係る教育	21

2-1 環境保全

2-1-① 地下水の保全

2-1-①-a 地下水保全

事業名	公共下水道幹線・枝線工事	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	下水道課	-	-	258,000	392,000	20,000	有	公共下水道整備 面積の拡大	平成28年度実績 枝線985.70m、水処理施設改築(長寿命化)一式
事業概要	公共用水域の水質改善並びに生活環境の改善を目的に下水管等の施設を設置する								
事業名	公共下水道加入促進事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	公共下水道加入率の向上を目的に、接続工事に係る県の補助制度(50%)を活用し、市としても補助制度を構築することで、接続工事の負担軽減を図る。							250世帯/年の加入を目指す	平成28年度は110世帯が加入した。
事業名	「下水道の日」関連行事	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	街頭PR活動やパネル展を行うことにより、下水道の意義・重要性を市民に普及、啓発する							下水道の意義、重要性に対する市民の認識向上	「公共下水道加入促進」と同様の内容のため、計画書から削除していく方向。
事業名	農漁業集落排水施設管理	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	農漁業集落から排出される下水汚泥処理施設の管理業務							施設の機能維持	農業集落排水施設6施設、漁業集落排水施設2施設の管理業務

事業名	農業集落排水施設機能強化事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	下水道課	H25	H36	0	80,000	80,000	有	施設の機能維持 及び強化	平成28年度実績 設計・監理一式、処理施設(機能強化)一式
事業 概要	過年とともに老朽劣化する施設の機能強化(一部改修を伴う)事業								
事業名	合併浄化槽設置整備事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	800	800	800	有	合併浄化槽の普 及拡大	平成28年度実績:1件、252,000円
事業 概要	合併浄化槽の普及を促進することで衛生的な生活環境を実現するため、合併浄化槽の設置に対して補助金を交付する。								
事業名	緩効性肥料購入補助事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課	-	-	6,200	6,200	6,200	無	緩効性肥料の普 及拡大	補助実績(春植え用):11,188袋 6,209,340円 株出し面積が増えているため、春植え用は減少傾 向。株出しは速効性肥料が使われやすい(除草作 業等のコストが大きいことも要因)。
事業 概要	さとうきび生産振興を図り、農家所得の向上に資するため、肥料を購入した者に対 し、補助金を交付する。地下水への影響が小さい緩効性肥料の普及を図る。								
事業名	緑肥種子購入補助事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課	-	-	1,320	1,320	1,320	無	緑肥の普及拡大	補助実績:9,964kg 1,317,800円 株出しが増えているため、補助実績は減少傾向。 春植え株出しを推奨してきたが、株出しが増えすぎ るとリスクになる。
事業 概要	さとうきび生産振興を図り、農家所得の向上に資するため、緑肥の種子を購入し た者に対し、補助金を交付する。地下水への影響が小さい肥料としての緑肥の普 及を図る。								
事業名	誘殺灯管理事業(H29新規掲載)	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課	-	-	11,200	11,200	11,200	無	サトウキビの被害 軽減	可動式誘殺灯:1,190基(宮古890+伊良部300) 固定式:70基(宮古のみ)
事業 概要	さとうきび病害虫であるアオドウガネの成虫が活動する5月~7月に可動式及び固 定式誘殺灯の設置及び誘殺灯維持管理、回収業務を実施しさとうきびの被害軽 減を図る。結果農薬等の使用を抑制し、環境保全に資する。								

事業名	有機質肥料購入補助事業(H29新規掲載)	事業期間	予算(千円)			補助	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始 終了	H30	H31	H32	有無		
担当課	農政課	-	-	13,100	13,100	13,100	無	有機質肥料の普及拡大 補助実績(夏植):63,702袋 6,943,096円 補助実績(春植):47,097袋 6,147,261円 補助実績(園芸用):10,000袋 2,145,403円
事業概要	土作りを推進するのために有機質肥料購入に対する助成を行い、地下水への影響が小さい肥料としての有機質肥料の普及を図る。(さとうきび(夏植、春植)、園芸作物用)							
事業名	堆肥盤設置補助事業(H29新規掲載)	事業期間	予算(千円)			補助	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始 終了	H30	H31	H32	有無		
担当課	畜産課	-	-	600	600	600	無	水質汚泥防止 周辺の環境保全 対策
事業概要	家畜排せつ物の適正管理対策として堆肥盤の設置に対し補助金を交付し、地下水の保全を図る。							
事業名	地下水保全対策事業	事業期間	予算(千円)			補助	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始 終了	H30	H31	H32	有無		
担当課	環境衛生課	-	-	5,260	5,260	5,260	無	適正な地下水利用の確保 地下水採取のための掘削許可及び地下水採取許可証の交付を5件行った。
事業概要	宮古島市全域の地下水水質モニタリングを実施し、地下水採取許可制度を通して地下水利用者に対し、適正な地下水の採取と排水処理の指導を行う。							

2-1-② 廃棄物の適正処理

2-1-②-a 一般廃棄物

事業名	環境保全対策事業	事業期間	予算(千円)			補助	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始 終了	H30	H31	H32	有無		
担当課	環境衛生課	-	-	85,000	85,000	85,000	無	リサイクル率の向上 平成28年度実績:生ごみ収集150t 選定枝葉748t 家電 7,684台
事業概要	環境衛生の保全と環境美化の推進、生ごみ収集及び剪定枝葉の堆肥化、家電リサイクル法対象家電及び使用済み自動車のリサイクル促進等、各種補助を行う。							
事業名	ごみ処理施設等整備事業(リサイクルセンター)(H29新規掲載)	事業期間	予算(千円)			補助	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始 終了	H30	H31	H32	有無		
担当課	振興開発プロジェクト局	28	30	843,146			有	リサイクルセンターの整備 リサイクルセンター(工場棟)の整備に着手した。
事業概要	リサイクルセンター(工場棟とプラザ棟)の整備を行い、資源ごみのリサイクルを行う。 工場棟:H28-H30:2,427,840千円							

事業名	一般廃棄物処理の管理業務	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	環境衛生課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	一般廃棄物の処理管理業務(クリーンセンター、最終処分場、し尿投入施設、リサイクルセンターの管理)。							ごみ減量化の推進	燃えるゴミ:15,853t 最終処分場: し尿投入施設:11,110t リサイクルセンター(伊良部):670t
事業名	最終処分場建設に係る検討(H29新規記載)	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	環境衛生課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	現在の最終処分場はあと数年で処分できなくなることから、委員会を開いて新たな最終処分場の建設場所を検討する。							平成30年度で場所を選定する。	
事業名	公共下水道幹線・枝線工事(再掲)P.1	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要									
事業名	公共下水道加入促進活動(再掲)P.1	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要									
事業名	農漁業集落排水施設管理(再掲)P.2	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要									

2-1-②-b 不法投棄

事業名	農業用廃プラスチック緊急処理対策補助事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課	-	-	4,600	4,600	4,600	無	適正な農業用廃プラスチック処理の確保	補助実績: 191,900kg 4,576,000円
事業概要	農業用廃プラスチックを適正に処理し、施設園芸等の生産性向上や普及拡大及び環境保全と農業振興の健全な発展に寄与する事を目的に補助金を交付する。								
事業名	不法投棄・散乱ごみ監視事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	1,000	1,000	1,000	無	不法投棄の撲滅	不法投棄場所の発見及びパトロールを行った。
事業概要	廃棄物減量等推進員として、宮古島市クリーン指導員を設置し、一般廃棄物の適正廃出及び減量化対策を推進し、廃棄物の散乱の防止に努め、生活環境の保全を図る。								
事業名	ボランティア清掃支援事業(仮称)	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	ボランティア清掃団体数	平成28年度ボランティア団体数(のべ): 82団体
事業概要	ボランティア清掃団体の活動を支援するため、より効果的な方策を検討し、試験的な運用を開始する。								
事業名	不法投棄ゴミ対策事業(仮称)	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農村整備課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	不法投棄の撲滅	植栽升等、清掃が行き届いている場所には不法投棄も少ないため、通常通り清掃を行った。
事業概要	地域毎の不法投棄の状況を把握し、広く周知・公表するとともに、清掃後にも不法投棄が繰り返される現状があることから、地域の子どもたちとともに清掃を行い、清掃後には参加した子どもたちが制作した看板などを設置し、不法投棄が繰り返されないよう対策する。また、ポイ捨てしにくい環境をつくるため、道路や沈砂池などの清掃を徹底する。								
事業名	家電類不法投棄対策に係る検討(仮称)	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	家電類の不法投棄対策の構築。	検討の結果、訪問型回収は業務上困難であり、家電リサイクル法の趣旨の理解促進が優先的に取り組む課題として整理された。
事業概要	家電リサイクル法の仕組みが分かりづらいことが要因のひとつと考えられることから仕組みを分かりやすく周知するための方策を検討する。								

事業名	監視カメラ設置に係る検討(仮称)	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	H29年度以降の監視カメラの設置を目指す。	
事業概要	不法投棄対策として、監視カメラの設置に効果が認められることから、県補助事業の調整も含め監視カメラの設置を検討する。								
事業名	ポイ捨て対策検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	H29: 試験的实施 H30: 仕組み化に係る検討	
事業概要	子ども達への環境学習の一環として、市街地の清掃を行い、ポイ捨て禁止をPRする「子どもポイ捨てパトロール」を企画検討し、関係機関との協議を進める。 また、環境美化推進条例に規定されている罰則(3万円以下の過料)について周知する方策を検討する。								

2-1-③ 海の保全

事業名	漂着ゴミ回収事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	ボランティア活動の拡大・適切な分別方法の周知	平成28年度ボランティア団体数(のべ): 139件
事業概要	ボランティア組織等による海岸清掃等を支援することで、海の環境を守る。 加えて、回収した漂着ゴミが適切に処理されるよう分別方法等について周知を図る。								
事業名	赤土流出防止対策に係る検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課、農村整備課、農政課、水産課、みどり推進課	28	-	事務費	事務費	事務費	無	赤土流出の原因究明	対策に係る検討を行い、平成29年度に予算化した。
事業概要	与那覇湾や大浦湾等への赤土流出に係る原因調査等を行い、赤土流出の防止対策を講じる。								
事業名	赤土流出対策モデル事業(仮称) グリーンベルト整備事業(仮称)	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農村整備課	29	32	事務費	事務費	事務費	無	赤土流出対策	
事業概要	赤土流出防止対策にあたり、(※)グリーンベルトの有効性が立証されていることから、赤土流出が大きいと思われる地区をモデル地区として定め、グリーンベルトを集中的に整備する。								

事業名	赤土流出対策モデル事業(仮称) 影響調査事業(仮称)	事業期間	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	環境衛生課	開始 終了	H30	H31	H32			
		29 -	1,000	1,000	1,000	無		
事業概要	赤土流出防止対策にあたり、グリーンベルトの有効性が立証されていることから、赤土流出が大きいと思われる地区をモデル地区として定め、集中的に整備したリュウノヒゲによる周辺海域等への影響を検証する。※グリーンベルト…圃場の周辺などに、リュウノヒゲ等の植物を植えることにより、水の流れを弱め、赤土等の流出を防ぐ対策						赤土流出対策の 効果検証	
事業名	海辺の利用ルール策定事業(仮称)	事業期間	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	観光課	開始 終了	H30	H31	H32			
		29 -	事務費	事務費	事務費	無		
事業概要	観光入域客数の増加に伴って、海水浴客によるサンゴの被害や撒き餌の弊害、生き物(魚やイソギンチャク等)の持ち帰り等、海辺の環境への影響が顕著になってきていることから、海辺の利用ルールづくりを検討する。						ルールの策定	
事業名	公共下水道幹線・枝線工事(再掲) P.1	事業期間	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始 終了	H30	H31	H32			
事業概要							公共下水道整備 面積の拡大	
事業名	公共下水道加入促進事業(再掲)P.1	事業期間	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始 終了	H30	H31	H32			
事業概要							公共下水道加入 率の向上	
事業名	「下水道の日」関連行事(再掲)P.1	事業期間	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	下水道課	開始 終了	H30	H31	H32			
事業概要							下水道の意義、重 要性に対する市民 の認識向上	

事業名	緩効性肥料購入補助事業(再掲)P.2	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課							緩効性肥料の普及拡大	
事業概要									
事業名	緑肥購入補助事業(再掲)P.2	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課							緑肥の普及拡大	
事業概要									

2-1-④ 生物多様性

事業名	森林環境保全直接支援事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	みどり推進課	-	-	99,198	99,198	99,198	有	適切な森林環境の保全	人工造林(新植)面積2.0ha、保育(施肥や下刈り等)面積191.78haを行った。
事業概要	流域における水源涵養機能、又は、山地災害防止機能の維持管理を図る為の森林施設及びこれに必要な路網整備を行う。								
事業名	特定森林造成事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	みどり推進課	-	-	1,853	1,853	1,853	有	森林面積拡大に向けた環境の整備	1.6haの人工造林(新植)を行った。
事業概要	森林の生産力の回復及び維持管理の観点から、成長不良な土地や耕作放棄地を対象として、土地条件の改良、植栽等を行う。								
事業名	宮古の希少生物啓蒙活動	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	総合博物館	-	-	事務費	事務費	事務費	無	市民の皆様に宮古の希少生物に対する理解を深め、その保全に繋げる。	
事業概要	宮古の希少生物をテーマにした、企画展・特別展示、子ども博物館や専門家を招いた講演会(博物館講座)などを開催する。例: H27年度 第29回企画展「ビルマス展」において、湧水に暮らすミヤコサワガニや、外来生物が及ぼす影響について紹介した。								

事業名	宮古の生物多様性啓蒙活動	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	総合博物館	-	-	事務費	事務費	事務費	無		
事業概要	宮古の生物多様性をテーマにした、企画展・特別展示、子ども博物館や専門家を招いた講演会(博物館講座)などを開催する。[例①]H26年度 特別展示「伊良部島・下地島の生きもの展～生物多様性調査プロジェクトの調査報告」にて、伊良部島・下地島の動植物を紹介した。[例②]H27年度 第11回博物館講座「野鳥の観察会」において、大野山林に生息する野鳥の観察会を行った。							市民の皆様にも宮古の生物多様性に対する理解を深め、その保全に繋げる。	
事業名	宮古の海に住む危険生物多様性啓蒙活動	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	総合博物館	-	-	-	-	-	無		
事業概要	陸上だけではなく宮古の海にひそむ、仮称「海の危険生物展」をテーマにした企画展と併せ専門家を招いた講演会(博物館講座)などを開催する。 内容:危険生物(有毒)の特徴や行動を正しく理解し、宮古の海に住む全ての生物の生育環境と保全に対する意識の高揚を図る。							市民の皆様にも宮古の海に住む生き物の生育環境を知り、その保全に繋げる。	第30回企画展「宮古の危険生物展」にて宮古に生息する危険生物を紹介した。入館者数が、また、小学生を対象とした子ども博物館講座で「海の生きもの観察会」を観察し、海の生きものを観察するとともに、海の危険生物について啓発することができた。
事業名	与那覇湾環境総合整備事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	261,769	61,500		有		
事業概要	与那覇湾の「保全・再生、利用、交流・学習」を推進する「与那覇湾及び周辺活用基本計画」に基づいた事業整備を行う。							与那覇湾の環境保全	与那覇湾環境総合整備計画事業に基づき自然観察施設・11カ所・遊歩道28mを整備し、自然観光資源としての与那覇湾に散策・観察出来る環境を整えた。
事業名	コアマモの植え付け体験事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	環境衛生課	-	-	-	-	-	無		
事業概要	与那覇湾の保全再生を目差し、コアマモの植え付けを実施する。							コアマモ植え付け体験者数の増加	サニツ浜カーニバルにおいて、体験イベントを行ったが活着しなかった。原因は不明だが、当面中止する方針。
事業名	与那覇湾の生き物展	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	総合博物館	-	-	-	-	-	無		
事業概要	ラムサールに登録された与那覇湾の貴重な生物の写真展を行うことにより与那覇湾を広く市民に周知する。例:平成24年度 第22回企画展「宮古のマングローブ環境とそこに暮らす生き物たち」にて、2012年7月にラムサール条約登録湿地となった与那覇湾について紹介した。							与那覇湾の生物に関する市民への周知拡大	

事業名	事業期間 開始 終了	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		H30	H31	H32			
事業名	ミヤコサワガニの保護事業						
担当課	環境衛生課	-	-	324	324	324	無
事業概要	宮古島固有種沖縄県指定(天然記念物)であるミヤコサワガニの保護を目的として、外敵であるヤエヤマインシガメ等の捕獲のために、トラップを設置し、回収報告を実施する。この他の外来種として、クジャク、イノシシ等については農政課で対策を実施。捕獲した際の連絡先などについて広報活動を強化する。					ミヤコサワガニの保護	ヤエヤマインシガメ捕獲106匹・ミヤコサワガニ保護・95匹
事業名	犬猫去勢及び避妊手術支援事業						
担当課	環境衛生課	-	-	1,200	1,200	1,200	無
事業概要	飼い犬や猫への去勢及び避妊手術を支援することで、無秩序な繁殖を抑制することにより、周辺住民に対する危害及び、迷惑の防止を図り、希少生物の適正保護に資する。					犬や猫の無秩序な繁殖抑制	犬 去勢・36頭 避妊・41頭 猫 去勢・57頭 避妊・68頭
事業名	環境保全に関するルールの検討						
担当課	環境衛生課	-	-	事務費	事務費	事務費	無
事業概要	生物多様性や海の環境を保全するにあたり、様々なルールづくりが必要となるが、既存の条例を見直すことで対応可能な項目がないか、検討を進める。					必要なルールづくりに繋げる	

2-1-⑤ 環境保全に係る教育

事業名	事業期間 開始 終了	予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		H30	H31	H32			
事業名	エコアイランド宮古島としての教育のあり方検討						
担当課	学校教育課	28	29	事務費	事務費	事務費	無
事業概要	教員への周知のほか、各学校への出前講座等による啓発活動のあり方等について、検討を進める。					エコアイランドの教育の仕組み構築	教員への周知方法や学校におけるエコ講座を仕組みにするための検討を行った。
事業名	エコ講座の開催						
担当課	学校教育課	28	-	事務費	事務費	事務費	無
事業概要	教職員に対し、エコアイランドに関する取り組みの周知を行うとともに、児童生徒向けのエコ講座を仕組みにするための方策を検討する。					エコ講座に係る仕組み作りを行う。	教職員向けの講座は未実施。出前講座を通して教職員等への宮古島市の取組についての理解を促す。出前講座を仕組みにするため、次年度に講座を行いたい学校を年内に募集し、学校が作成する計画

事業名	夏休みエコツアーの開催	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	23	-	事務費	事務費	事務費	無	エコツアーを年1回 開催する	夏休みエコツアーを開催した。 参加者数:20人
事業 概要	市内小中学生を対象にエコ関連施設のツアーを夏休み期間を利用して開催する。								
事業名	市民向け啓発イベント～エコの島コンテスト～	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	27	-	3,000	3,000	3,000	無	エコアイランドに関する啓発イベント を年1回開催する	第1回のエコの島コンテストを開催し、のべ15団体が エントリー。コンテスト当日には400名程度の一般参 加があった。
事業 概要	一般市民のエコアイランドに関する意識を啓発するため、イベントを開催する。平成28年度からは「エコの島コンテスト」として、島内におけるエコ活動を支援することで、市民が参加しやすい仕組み作りを目指す。								
事業名	環境保全啓蒙活動	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	総合博物館	-	-	-	-	-	無	市民の皆様に宮 古の環境保全に 対する理解を深め る。	
事業 概要	宮古の環境保全をテーマにした、企画展・特別展示、子ども博物館や専門家を招いた講演会(博物館講座)などを開催する。「与那覇湾の生き物展」の関連行事と併せて実施。								

2-2 資源循環

2-2-① バイオマス

2-2-①-a バイオエタノール

事業名	バイオエタノール製造流通事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	24	31	64,000	61,000		有	製造コスト(円/㍓)の 検証。 H32年度以降への継 続、事業化を目指す。 H29:100KL製造	バイオエタノール18kL製造。E3燃料流通中止に伴 い、製造量が少量となった。
事業 概要	市の基幹作物であるサトウキビの製糖残渣を原料としたバイオエタノール利用やエタノール製造時に発生する残 渣液の土壌還元等による、島内におけるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築を目指し、H29 以降はE3燃料に替わり給食調理場用ボイラー燃料等で活用し、バイオエタノールプロジェクトの事業化を目指 す。								
事業名	E3燃料流通事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業 概要	石油卸事業者の撤退により基材ガソリンの調達が出来なくなり、E3燃料流通事業を継続す ることが出来なくなったため、今後は、給食調理場用ボイラー燃料などエタノールの利活用につ いて、検討していく(別事業として掲載)。							基 材ガソリンが調達できなくなり、年度当初より製造 できなかった。	
事業名	宮古島バイオエタノール製造施設活 用検討委員会	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業 概要	島内におけるサトウキビのカスケード利用を通じた循環型社会の構築を目的として、バイ オエタノールの多用途開拓及び残渣液等の有効活用を検討する。							バイオエタノール製造目標 H29:100KL H30:200KL H31:300KL	E3燃料流通ができなくなり、その後の方針決定に 時間を要したため、委員会開催が1回のみとなっ た。

2-2-①-b バイオディーゼル

事業名	バイオディーゼル利活用に関する検 討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	28	-	事務費	事務費	事務費	無	BDF 島内消費量向上	市クリーンセンターで回収される廃食用油を島内産 BDF原料に利用開始。原料の安定確保を推進し た。
事業 概要	現在、島内の複数の事業者により一般流通しているが、消費量が限られている。また、島内需要の状況把握、将 来におけるBDF利用の可能性について検討する。調査対象(市公用車、バス、港運会社、宅配便等)。								

2-2-①-c メタン発酵

事業名	メタン発酵利活用に関する検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	-	-	事務費	事務費	事務費	無	メタン発酵技術の 動向把握	メタンガスのエネルギー利用に関しては、今のところ 費用対効果として活用可能性のある新たな利用方 法はない状況。
事業 概要	現在、島内2酒造工場にて酒粕のメタンガス利用を行っている。初期コスト、原料 確保など普及拡大に向けた課題の抽出、解決策等の検討を進めるとともに、新技 術の動向、情報収集を行う。								

2-2-② エネルギーの効率化

2-2-②-a 再生可能エネルギー（太陽光・風力）の普及

事業名	島嶼型スマートコミュニティ実証事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	23	32	213,757	200,000	200,000	有	平成33年度におけ る事業化を目指 す。	ビジネス化に向けた費用対効果のシミュレーション 分析を行い、ビジネス化の可能性を見出すことがで きた。エネルギーの制御に関するフィールド検証が 必要となることから、事業の継続について、沖縄県と 協議しているところ。
事業 概要	太陽光発電などの再生可能エネルギーを含め、島全体のエネルギー利用を効率化することにより、いつまでも住 み続けられる島づくりに繋げるため、エネルギーを最適に消費するためのシステムを構築するとともに、持続的 に運用するためのビジネスモデルを検証し、将来の事業化を目指す。								
事業名	エネルギーマネジメントにおけるEV連 携検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	27	-	事務費	事務費	事務費			
事業 概要	上記の島嶼型スマートコミュニティ実証事業において、島内エネルギー消費を最 適化するためには、エネルギー貯蔵が必要となることから、1つの方策として電気 自動車の活用の検討を進める。							EV連携に関する 技術動向把握	電気自動車のVtoHをはじめとしたエネルギー連携 の検討を行った。設備コスト等の課題解決に向けて 更なる検討が必要。
事業名	水素利用に関する検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	27	-	事務費	事務費	事務費			
事業 概要	エネルギー貯蔵媒体として注目される水素利用については、現在、技術開発が盛んに行われている ことから、その動向を注視するとともに、現時点においては、非常に高コストであり実装が難しい状況 にあることから、将来的な活用可能性について調査・検討を行う。							水素に関する動向 把握	国内の取り組みの動向について、情報収集を行っ た。 費用対効果の向上が必須と認識。
事業名	地域主体の再生可能エネルギー導 入検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	29	-	事務費	事務費	事務費			
事業 概要	再生可能エネルギーの系統連系について、沖縄電力による接続申請に対する保留の状況が続いて いたが、出力抑制の許容により接続が可能となる条件に変更となったことを踏まえ、地域主体による 再生可能エネルギー導入方策の検討を行う。							導入スキーム・体 制の構築(H30)	

2-2-②-b 省エネ対策

事業名	すまエコプロジェクト(再掲)P.13	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							家庭や事業所における省エネ意識の高揚	見える化による省エネについては、一定の効果が確認できたものの、省エネサービスとして継続できる経済性の成立は困難となったことから、計画から削除の方針。
事業概要	すまエコプロジェクトによる電力消費の見える化を通じて、家庭や事業所における省エネを促進する。								
事業名	電気自動車普及促進事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	電気自動車の普及に関する実態調査、充電設備の設置・運用の実態調査を行い、充電インフラおよび管理システムのあり方を検討し、低炭素社会に向けた電気自動車の普及促進を促すとともに、電気自動車が普及している島というブランド化、電気自動車の利活用による生活コストの低減化、QOLの向上、新たなライフスタイルの確立を図る。							EV普及: 2030年 40%	EV普及拡大に向けた各種調査を行い、課題を明確化した基本計画を策定した。
事業名	省エネ活動促進制度の検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	ブランド化推進事業において、市民が参画しやすい仕組みづくりを検討している一環として、省エネ機器導入支援を検討する。							省エネ機器導入支援制度の立案・試験的实施(H30)	
事業名	公共交通のあり方検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	商工物産交流課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	宮古島におけるCO2排出の30%をしめる運輸部門の排出量削減のため、自家用車依存度の低減化に向けて、公共交通のあり方について、関係者と連携し検討を行う。公共交通ヒヤリング(BDF,バス)。							公共交通のあり方検討	交通路線の維持を目的としてバス対策会議を開催している。また、市内公共交通のあり方を検討する場として、地域公共交通会議の設立検討を行った。
事業名	ブルーライン計画の検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	観光課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	宮古島におけるサイクルツーリズムの可能性を検討するため、可能性調査を実施する。							エコ観光の推奨	H28は視察を実施した。その成果を踏まえ、平成29年度は調査事業を行う。高温多湿、雨が多いなど宮古島の気象特性や地理などを踏まえ、ブルーラインを整備した場合の利用見込みなどを把握する必要がある。

※ブルーラインとは、サイクリングの推奨道路として、車道の左側に青色ラインを整備すること。

2-2-②-c 外的環境の変化

事業名	島嶼型スマートコミュニティ実証事業委(再掲)P.13	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							平成33年度における事業化を目指す。	
事業概要	外的な要因による影響を受けにくいエネルギー供給システムを構築するためには、エネルギー自給率を高める必要があることから、島嶼型スマートコミュニティ実証事業の取り組みの中で、関係者間の協議を進め、離島における電力需給システムのあり方について、検討する。								

2-2-③ 未利用エネルギー

2-2-③-a 天然ガス

事業名	沖縄県天然ガス利活用検討委員会	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)	
		開始	終了	H30予算	H31	H32				
担当課	エコアイランド推進課	27	30				無	利活用事業の具現化	平成28年度の開催実績0回 今後も見通しが無いため、計画から削除の方向	
事業概要	県主催の検討委員会に参加し、本市が策定した計画書に添った施策を立案し宮古島における事業化を推進する。									
事業名	宮古島市天然ガス資源利活用推進事業	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)	
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32				
事業概要	H28に策定した資源利活用実施計画書を基に事業化を図るための各種実証や可能性調査を実施し、事業の具現化を図る。また、利活用を推進する民間企業の誘致を図り本市経済の活性化に繋げていく。							有 (28以降)	企業誘致による経済の活性化	宮古R-1号井において本市独自の生産試験を行い、利活用検討委員会を3回開催し、資源利活用実施計画書を策定した。

2-2-③-b その他の未利用エネルギー

事業名	宮古島に適した未利用エネルギーの検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	27	-	事務費	事務費	事務費	無	最新動向の把握	各種WEBサイトや資料等により情報収集を行った。
事業概要	海洋エネルギー、水素エネルギー、地熱、地中熱、汚泥利用など、宮古島の環境や社会状況に適した未利用エネルギーを検討。現在は、水素エネルギーに関して新技術の動向を注視する。								

2-2-④ 資源循環に係る教育

事業名	研究機関等誘致に向けた情報発信及び視察等受け入れ	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	26	-	事務費	事務費	事務費	無	研究機関等の誘致	ブランド化推進事業の中で専門家等への意識調査を行った。
事業概要	各種学会や企業研修、教材作成等において、宮古島の取り組みが注目を集めていることから、学会や研究機関、研修の誘致に向けた情報発信を行う。								
事業名	エコアイランド宮古島としての教育のあり方検討(再掲)P.10	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	学校教育課							エコアイランドの教育の仕組み構築	
事業概要	教員への周知のほか、各学校への出前講座等による啓発活動のあり方等について、検討を進める。								
事業名	夏休みエコツアーの開催(再掲)P.11	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							エコツアーを年1回開催する	
事業概要	市内小中学生を対象にエコ関連施設のツアーを夏休み期間を利用して開催する。								

2-3 産業振興

2-3-① 産業の振興

2-3-①-a 新たなビジネスの創出

事業名	バイオエタノールプロジェクト(再掲)P.12 島嶼型スマートコミュニティ実証事業(再掲)P.13	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							ビジネス化の実現	
事業概要	新たなビジネスモデル確立による雇用確保を目的として、実証事業の事業化に向けた取り組みを進める。								
事業名	EV産業化に向けた検討	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要	EVの普及に伴う新たなビジネス構築や関連産業の創出に向け、具体的な方策等について検討を行う。							方策の検討	メンテナンス体制構築に向けた課題を検討した。引き続き議論が必要。
事業名	宮古島市天然ガス利活用推進事業(再掲)P.15	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
担当課	エコアイランド推進課	開始	終了	H30	H31	H32			
事業概要								企業誘致	

2-3-2 「エコアイランド宮古島」のブランド化

2-3-2-a 市民主体のエコアイランドづくり

事業名	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	28	31	20,000	5,000		有	エコアイランド宮古島ブランド戦略の策定	調査事業を行い、ブランド化に向けたアクションプランを策定した。
事業概要	エコアイランド宮古島の取り組みを産業振興や地域経済の活性化に繋げるためには、特色あるエコアイランド宮古島の取り組みをブランド化する必要があることから、専門人材を活用しつつ、戦略づくりを行う。その中で、クルーズ船が寄港するなど、海外からの観光客等の増加が見込まれるため、エコアイランドの環境を守るためのPR方策や海外観光客への周遊コース提供についても検討する。								
事業名	エコの島コンテスト(再掲)P.11	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							エコアイランドに関する啓発イベントを年1回開催する	
事業概要	平成28年度からは「エコの島コンテスト」として、島内におけるエコ活動を支援することで、市民が参加しやすい仕組み作りを目指す。								
事業名	島嶼型スマートコミュニティ実証事業(再掲)P.13	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							ビジネス化の実現	
事業概要	島全体のエネルギー効率化のため、多くの市民や事業者とともに取り組む必要があるため、広く市民参加が可能な仕組みづくりを行い、ひいては市民参加型のプロジェクトとして、エコアイランド宮古島のブランド化に資する。								

2-3-②-b 観光との連携

事業名	エコアイランド宮古島ブランド化推進事業(再掲)P.18	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課							エコアイランド宮古島ブランド戦略の策定	
事業概要									
事業名	MICE誘致対策事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	エコアイランド推進課	28	-	事務費	事務費		無	MICEの継続/ 新規受け入れ拡大	ブランド化推進事業の中で、視察等の拡大に関する戦略を位置づけているため、ブランド化推進事業に事業を統合する。
事業概要	エコアイランド宮古島の視察や学会、研究会等が増えつつあることから、これらMICEによる地域経済の活性化に繋げていくため、PR活動や受入体制、仕組みの構築に向けた検討を行う。 実績例:同志社大学、東海大学等の大学、電気学会や応用物理学会等の研究会の開催受け入れ、現場視察対応等								
事業名	カーボンオフセット事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	トライアスロン・エコマラソン実行委員会	-	-	事務費	事務費		無	エコアイランドのイメージPR	例年通りトライアスロンやエコアイランド宮古島マラソンにて、カーボンオフセットを行った。
事業概要	エコアイランドにふさわしいスポーツイベントであることをPRするため、トライアスロン宮古島大会やエコアイランド宮古島マラソンにおける出場者の移動に係るCO2排出について、東日本大震災の被災県や地域の植林事業によるカーボンオフセットを行う。トライアスロンでは、500円/人×1,500人分をオフセット								
事業名	ブルーライン計画の検討(再掲)P.14	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	観光課							エコ観光の推奨	
事業概要									
事業名	環境キャパシティの検討(H29新規掲載)	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	観光課、上下水道部総務課、工務課、浄水課、下水道課、環境衛生	30	-	事務費	事務費	事務費	無	自然環境に関するデータの収集 社会インフラの受入キャパの検証	
事業概要	観光入域客数が顕著な伸びを示していることから、宮古島観光の魅力である自然環境や上下水道等の社会インフラへの負荷を定量的に把握し、対策の検討を行う。								

2-3-②-c 農水産業、商工業との連携

事業名	新技術実証栽培施設(ポットファーム)	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課	26	-	5,100	5,100	5,100	無	新たな栽培技術の普及展開	民間による施設の有効活用等の方策を検討している。
事業概要	再生可能エネルギーや蓄電システム、生産管理システムを活用した新たな栽培技術の仕組みについて、モデル構築を行うことにより普及展開を図る。								
事業名	産地水産産業強化支援事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	水産課	27	29				有	H29施設供用開始。水産加工品年間生産量7,200kg	施設の整備に着手した。
事業概要	佐良浜に海業支援施設を整備し、未利用・低利用資源を加工販売することで、漁家所得向上と食料廃棄量の低減を図る。								
事業名	海業センター整備事業	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	水産課	26	31	250,000	157,420		有	H30年3月施設改修完了、4月全面供用開始。	藻類及びビシャコガイ等の養殖を推進した。漁家収入の安定化・効率化に努めた。藻類養殖のうちモズク養殖については、異常気象等の影響に備え、共済加入を促進することが課題。
事業概要	老朽化した取水施設を更新に伴う取水効率の向上により、電力面での環境負荷を低減する。また施設業務の軸を藻類養殖支援にシフトすることで漁業振興を図る。								
事業名	地産地消実現に向けた検討(H29新規掲載)	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	農政課、畜産課、水産課、商工物産交流課	30	-	事務費	事務費	事務費	無	H30年度に自給率算出方法の明確化を行う	
事業概要	持続可能な島づくりに向けて食料の地産地消(自給率向上)を実現するため、現状の分析(自給率の算出方法)や解決すべき課題を明らかにするため、関係課にて検討を行う。								
事業名	商工業におけるエコアイランドのブランド活用に向けた検討	事業期間		予算(千円)			補助有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	商工物産交流課/ エコアイランド推進課	28	-	事務費	事務費	事務費	無	ブランド活用に向けた具体的な施策洗い出し	H28は、エコアイランド推進課、他関係各課と情報交換を行った。今後は関係各課が一同に会し、課題整理・施策洗いだしができる場を設置し、検討する。
事業概要	商工業におけるエコアイランドのブランド活用に向けた現状と課題の整理を行うとともに、具体的な施策の洗い出しを行う。								

2-3-③ 産業振興に係る教育

事業名	ブランド化推進事業(再掲)P.18	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	観光課/エコアイランド推進課	28	-				無	受入に係る窓口の 設置及びコーディネ ーターの育成	ブランド化推進事業の中で検討している。再掲とする。
事業 概要	エコアイランド宮古島の視察、観光受け入れに関して、訪問者のニーズを踏まえたコーディネートを行うため、窓口の設置やコーディネーターの育成等、受入体制の整備に向けて、関係者間の連携を図る。								
事業名	ブランド化推進事業(再掲)P.18	事業期間		予算(千円)			補助 有無	成果目標	平成28年度実績評価 (平成29年度に記入)
		開始	終了	H30	H31	H32			
担当課	観光課/エコアイランド推進課	28	-				無	エコツアー商品開 発	ブランド化推進事業の中で検討している。再掲とする。
事業 概要	企業研修や一般観光客に対するエコツアーを充実するためには、訪問者の関心を引きつける魅力的な旅行商品が必要となることから、旅行商品開発を行うとともに、エコ全般(歴史や文化財なども含め)を説明できるガイドが必要となることから、人材育成を図る。								